令和７年度　東部地域福祉ネットワーク会議開催

７月３１日（木）午後２時から東部地区市民センターで、令和７年度地域福祉ネットワーク会議を開催しました。参加者は、自治協運営委員、民生児童委員、社協コーディネーター、維賀幸育会職員、名張厚生協会職員、市職員で合わせて４０人でした。

会議は南会長の挨拶の後、司会者の町野健康福祉部会長の進行で進められました。最初に、伊賀市から「第５次地域福祉計画の策定方針」について、伊賀市社会福祉協議会から、「伊賀・東部地域のこれからを考える」について説明がありました。

その後、参加者は６グループに分かれ、ワークショップ１「タイムトラベルボード～自分と自分の身近な人の今と１５年後を考えてみましょう！」とワークショップ２「４つの窓～「災害」「健康寿命」をテーマに、わたしたちの地域の「強み」「弱み」「理想」「解決方法」を考えてみましょう！」に取り組みました。グループで意見交換を行いながら、意見を書いた付箋を「４つの窓」に貼り付け、最後に参加者全員が各グループを回り、共感する意見に「いいねシール」つけてワークショップは終了しました。

ワークショップで出された意見は、今年策定する第５次地域福祉計画及び地域福祉活動計画に反映される予定です。東部地域の「災害」や「健康寿命」に関する意見が当該計画に反映されることによって、福祉課題が改善されていくことが期待されます。